

令和7年度国有林野事業業務研究発表会 発表課題一覧

《森林技術部門》

第2会場：農林水産省 北別館8階 林野庁AB会議室

No.	発表時間	発表課題名	発表者			概要
			森林管理局	森林管理署等(元所属)	氏名	
1	10:50 ～ 11:10	携帯電話不感地帯での治山工事における通信環境の導入について	中部	富山森林管理署 東濃森林管理署 (富山森林管理署)	城内 優希 前田 達樹	山間部奥地の通信エリア圏外における治山工事の施工管理にあたっては、いくつかの課題があり解消に向け取り組んできた。今回、試行していたLTE回線に替えて低軌道衛星通信(スターリンク)を導入したことによる改善成果を発表する。
【休憩 10分】 11:10 ～ 11:20						
2	11:20 ～ 11:40	冬下刈の取り組みについて ～成長期前後における植栽木の成長量等の検証～	近畿中国	岡山森林管理署	柴田 和紀 安田 真菜	下刈は一般的には夏に実施するが、夏の下刈には熱中症や危険生物など、多くの危険性が伴う。一方、冬の下刈はこれらの危険性が減少する半面、植栽木の被圧枯死などの懸念があったことから、冬下刈の効果を検証した。
3	11:40 ～ 12:00	下刈の省力化に向けた取組 ～筋刈の効果的運用の検証～	東北	岩手南部森林管理署 東北森林管理局 資源活用課 (岩手南部森林管理署)	田中 慈 小渡 太	下刈省力化の一環として取り組んでいる筋刈(列間刈)について、植付時の工夫による更なる省力化や、周辺植生による苗木成長への影響を分析して取りまとめ、効率的かつ確実な成林に資する手法について検証を行った。
【昼休み 70分】 12:00 ～ 13:10 ※審査委員会(食事後30分間程度):国育林野部第1会議室						
4	13:10 ～ 13:30	ドローンを用いた植栽木と競合植生の状態の把握について ～下刈省略区域の設定に向けたヒノキ造林地における取組～	中部	関東森林管理局 静岡森林管理署 (岐阜森林管理署) 岐阜森林管理署	齋 つかさ 西田 圭佑	下刈りの省略を検討する造林事業地において、職員が使用できるドローンやQGISを活用して、植栽木と周辺植生の競合状態を判定した。また、その結果から下刈省略区域の設定に向けて可能性を検討した。
5	13:30 ～ 13:50	LiDAR搭載UAVで実現する安全な事業計画策定	北海道	根釧西部森林管理署 大澤木材株式会社 福島県農林水産部森林林業総室 (根釧西部森林管理署)	佐藤 亜樹彦 野上 一平 見付 亜那	林内での事業実行前的人力踏査には労力、時間がかかり、またヒグマによる労働災害の発生もあったことから、これに代わる手法として、LiDAR搭載UAVとGISを活用した安全で効率的な事前調査について検証した。
【休憩 10分】 13:50 ～ 14:00						
6	14:00 ～ 14:20	鹿児島県南薩地域における国産広葉樹の活用	九州	鹿児島森林管理署	嶋 徹矢 一川 彩華 宮本 和久	当署管内の南薩地域は節節生産量の約7割を占めており、加工においてかなりの薪が必要である。地元の加工組合から国有林の広葉樹を供給してほしいとの要望があり、当署における広葉樹の安定供給の取組について発表する。
7	14:20 ～ 14:40	高齢級ウバメガシ林分の更新試験について ～萌芽の初期成長に影響を与える要因の検討～	四国	四万十森林管理署	藤村 良汰 今若 舞 伊勢脇 風雅	備炭炭の原料であるウバメガシの原木不足が懸念されているため、2019年からウバメガシの更新試験を実施している。当試験地における、伐採後の萌芽の生存率や初期成長に影響を与える要因について考察し、今後の方針について報告する。
8	14:40 ～ 15:00	技術開発「 ^{ひわだ} 檜皮採取試験」の結果報告 ～24年間の取組の概要と成果～	近畿中国	京都大阪森林管理事務所 山口森林管理事務所	内橋 由博 村木 藍海 佐藤 博雅	重要文化財の多くは檜皮葺きであり、維持するための葺き替えが必要。一方、森林所有者の間で、檜皮採取による樹木の成長阻害や材質低下への懸念があったため、長期試験により檜皮採取による立木への影響や収支等を明らかにした。
【休憩 35分】 15:00 ～ 15:35						

《森林保全部門》

第1会場:農林水産省 共用第1会議室

No.	発表時間	発表課題名	発表者			概 要
			森林管理局	森林管理署等(元所属)	氏 名	
1	10:30 ～ 10:50	地形データを用いた史跡の検証 ～遠野物語をたずねて～	東北	三陸中部森林管理署	佐々木 慎平	世界遺産「橋野鉄鉾山」周辺で文化的価値の保全と調和した森林施業を行うために、製鉄関連史跡と旧街道を調査。森林3次元計測システムを用いた地形解析とともに、柳田國男「遠野物語」(山の神・山男)の背景を探り、検証を行った。
2	10:50 ～ 11:10	木質バイオマス燃料としての松くい虫被害木の活用について ～国有林材を活用したSDGsへの取組～	近畿中国	石川森林管理署	林 博文	安宅林(あたかばやし)国有林では松くい虫被害が急激に拡大している。伐倒駆除木については林外搬出を行っていたが、この度、破砕処理のうえ木質バイオマス燃料として活用することで、処理経費等の節減が図れたため実行結果を発表する。
				滋賀森林管理署 (石川森林管理署)	植村 茜 山口 静瑠	
【休憩 10分】 11:10 ～ 11:20						
3	11:20 ～ 11:40	伊佐地区における猟友会と野生動物撃退装置を連携させた 新たな有害鳥獣対策の取り組み	九州	北薩森林管理署	藤川 晃久	ニホンジカ等による森林被害が拡大している中、 当署において地元自治体や猟友会との有害鳥獣被害対策協定締結による捕獲の連携とシカネットを設置しない新たな手法の有害鳥獣被害防止対策に取り組んだ内容を発表する。
					白内 慎哉	
					新村 日奈子	
					東 佑太	
4	11:40 ～ 12:00	ブロックディフェンスを活用したニホンジカの捕獲方法について	中部	南信森林管理署 (技術普及課)	中村 育野	皆伐地の搬出作業路をシカが利用していたことから、作業路を遮断せずに防護柵(ブロックディフェンス)を設置し、その周辺のシカの生息状況を調査するとともに、作業路を利用するシカの効率的な捕獲方法について検証したので発表する。
				南信森林管理署	千村 知博	
【昼休み 70分】 12:00 ～ 13:10 ※審査委員会(食事後30分間程度):入札室						
5	13:10 ～ 13:30	伊豆署職員実行によるニホンジカ捕獲のこれまでとこれから	関東	伊豆森林管理署	藤垣 遼大	伊豆森林管理署では、平成27年度から全職員を挙げてニホンジカ捕獲を実施しており、10年間の捕獲頭数は1,022頭となった。昨年度、全捕獲個体情報の整理・分析を行い、これからの伊豆署における職員実行シカ捕獲を展望したので報告する。
6	13:30 ～ 13:50	シカ捕獲の効率化について ～熟練職員の技を受け継ぐ～	四国	四国森林管理局 治山課 (安芸森林管理署)	小林 風賀	高知県内ではシカによる食害等の被害が高い水準にある中、経験豊富な職員の退職に伴いシカ捕獲技術が途絶えてしまうことを懸念し、その技術を継承するために、実際に現地で手法を教わりながらその内容をマニュアルとして作成したことについて報告する。
				安芸森林管理署	村上 烈士	
【休憩 10分】 13:50 ～ 14:00						

《森林ふれあい・地域連携部門》

第1会場:農林水産省 共用第1会議室

No	発表時間	発表課題名	発 表 者			概 要
			森林管理局	森林管理署等(元所属)	氏 名	
1	14:00 ～ 14:20	広報による相互利益実現のための戦略と取組 ～職員有志による広報ワーキングチームの挑戦～	北海道	網走南部森林管理署	渡邊 大地	北海道森林管理局では効果的かつ戦略的な広報活動に向け、広報ワーキングチームを設立。成果の一例として、登山者にマナーや安全等を啓発する「豆本」を作成。鳥獣戯画を題材に、創意工夫した発行者で戦略を展開。
2	14:20 ～ 14:40	学校林活動による児童の森林に対する意識変容について －アンケート調査を活用した取組の改善－	関東	山梨森林管理事務所	平田 和嗣 遠近 深空	“森と関係を築くように学ぶこと”を目的に、地元小学校と協同している学校林活動において、計3回のアンケートによる、「森林への好感や生活との関りに関する尺度」と「記述による森林や林業のイメージの変化」の調査結果。
3	14:40 ～ 15:00	「高知の自然！大発見すごろく」の開発による森林環境教育の普及啓発について	四国	嶺北森林管理署 四万十森林管理署 (嶺北森林管理署)	岡本 昂大 池森 加奈恵 田村 翔太	森林環境教育の普及を検討する中で、まずは高知県について考えると、自分の住んでいる地域以外を知る機会が少ないという現状から、高知県の森林・山の場所や特徴、知識や魅力を伝えるために作成したすごろくを使って取り組んだことについて報告する。
4	15:00 ～ 15:20	出前講座による民有林支援について	東北	秋田森林管理署湯沢支署 羽後町 農林課	小野 響希 川本 我夢 佐藤 駿	民有林の整備主体である市町村林務担当者の役割は増加している。そこで、羽後町の林務担当者を対象に、森林管理に関する実践的な知識の習得を目標とした出前講座を実施し、適切な民有林管理の推進に貢献した。
【休憩 15分】 15:20 ～ 15:35						

《特別講演》

第1会場:農林水産省 共用第1会議室

講演時間	講演	講演者		概 要
		所 属	氏 名	
講演者照会(5分) 15:35～15:40				
15:40 ～ 16:20	森林整備保全事業の生産性・安全性の向上に資するソリューションやアタッチメントのご紹介	日立建機日本株式会社	河村 謙輔	森林土木工事において活用可能なICT建機のラインアップ、ネットワーク環境の設置機材の紹介に加え、山間奥地の厳しい施工条件下の工事において、生産性・安全性向上の切り札として期待されるチルトローテータの活用例を紹介する。
		Steelwrist Japan 株式会社	松本 真	